

一般科目

# 日本語

## 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は6ページで、解答用紙は3ページあります。試験開始の合図があったから確かめなさい。
- 3 監督者の指示に従い、解答用紙の各ページに受験番号を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 文字などの印刷に不鮮明なところがあった場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。ただし、「総得点欄」「採点欄」「得点欄」に記入してはいけません。
- 6 問題用紙の余白は下書きとして利用してかまいません。
- 7 試験終了後、配付された問題用紙、下書用紙は持ち帰りなさい。

# 問題用紙

( 日本語 )

問題1 文中の下線\_\_\_\_の漢字の読みをひらがなで書きなさい。解答は解答用紙に記入すること。

- (1) 直線  $y=x-6$  が  $x_0$ 軸と交わる点を求める。
- (2) 教室での「3密」を㉔避けるために、㉕履修する学生の人数を制限する。
- (3) A: みんなの前で先生に叱られるなんて、㉖凹むなあ。  
B: そんなに落ち込むなよ。
- (4) ビタミンB1が不足すると、手足の感覚が㉗鈍くなることもある。

問題2 文中の下線\_\_\_\_のカタカナを漢字で書きなさい。解答は解答用紙に記入すること。

- (1) 明治時代㉘イコウの日本社会が㉙カカえる㉚コウゾウ的な問題について考え、その解決法を探る。
- (2) 新型コロナウイルス感染の㉛カクダイにより、さまざまな行事の<sup>かい</sup>開催が中止や㉜エンキになった。

問題3 文中の下線\_\_\_\_に入れる最も適切な言葉を a.~d.から選び、記号で答えなさい。解答は解答用紙に記入すること。

- (1) 遅刻、欠席をする場合は、事前に連絡し、担当の先生に\_\_\_\_\_おいてください。  
a. 言いつけて    b. ことわって    c. ゆるして    d. たよって
- (2) 私は経験が長いから、彼が困っていたら、いつでも\_\_\_\_\_を貸すつもりだ。  
a. 頭    b. 腕    c. 肩    d. 胸
- (3) いつもおごってもらってばかりなので、この費用は私が\_\_\_\_\_よ。  
a. 持ちます    b. 取ります    c. 払わせます    d. つかみます
- (4) 誰も質問しないので、私は手を挙げるのを少し\_\_\_\_\_。  
a. おくませた    b. あわてた    c. ゆるんだ    d. ためらった
- (5) その時期に、海外の教育を参考にした4年\_\_\_\_\_の大学が初めて設立された。  
a. 式    b. 流    c. 制    d. 期
- (6) 今までの自分の行動を深く\_\_\_\_\_し、同じ失敗は二度と繰り返さないようにしてほしい。  
a. 検討    b. 反映    c. 反射    d. 反省

# 問題用紙

( 日本語 )

- (7) このりんご， \_\_\_\_\_ あとがあるけど，誰が食べたの。
- a. かんた      b. かじった      c. ほおばった      d. のみこんだ
- (8) 常識の壁<sup>かべ</sup>を打ち破ったところに \_\_\_\_\_ が起こる。
- a. ジェンダー      b. エビデンス      c. イノベーション      d. ダイバーシティー
- (9) 休みなく働いていたので，仕事が終わって椅子に座ったら， \_\_\_\_\_ と疲れが出た。
- a. どっ      b. ぐっ      c. どん      d. がん
- (10) どうしても目的の場所が分からず，あちこち \_\_\_\_\_ してしまった。
- a. ぶらぶら      b. うろうろ      c. ふらふら      d. そわそわ

問題4 (1)～(10)の ( ) に当てはまる最も適当な言葉を a.～d. から選び，記号で答えなさい。  
(11)～(15)については，a.～d. を並びかえて，★ に当てはまる最も適当な言葉を a.～d. から選び，記号で答えなさい。解答は解答用紙に記入すること。

- (1) 他人の本当の気持ちなんて，どうせ ( ) っこない。
- a. わかり      b. わかる      c. わかれ      d. わかろう
- (2) これは考えに ( ) 末の結論なので，意見を変えるつもりはない。
- a. 考えの      b. 考えて      c. 考える      d. 考えた
- (3) 実験を ( ) 最中に，突然地震が来たため，実験を中止せざるをえなかった。
- a. した      b. していた      c. する      d. している
- (4) オリンピックの開催<sup>かいがい</sup> ( ) ，ホテルの建設ラッシュが始まった。
- a. にそって      b. において      c. にさきだって      d. にたいして
- (5) 体によくないと知り ( ) ，どうしてもたばこがやめられない。
- a. ぬいて      b. かけて      c. つつも      d. まいか

# 問題用紙

( 日本語 )

- (6) この映画は何度見ても、心に響く（ ）。
- a. ものがある      b. ことがある      c. とはあんまりだ      d. にほかならない
- (7) 不思議な（ ），私も私の母も祖母も双子<sup>ふたご</sup>なんです。
- a. ほどに      b. ことに      c. うえに      d. がちに
- (8) 新入生（ ），4年生にもなって試験日を間違えるとは、一体どうしたんですか。
- a. にしろ      b. にかぎって      c. ならまだしも      d. だとしても
- (9) 大学院に進学すると決めた（ ）は、最後まであきらめずに研究をするつもりだ。
- a. にあたって      b. にくわえて      c. あげく      d. いじょう
- (10) 昨日あまり寝られなかった（ ），今日は一日中、頭がぼんやりしていた。
- a. おかげで      b. せいか      c. ものの      d. にはしては
- (11) 私の姉は、 \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ だれにでもぺらぺら話してしまう。
- a. 家庭の事情を      b. 他人に      c. 言うべき      d. ではない
- (12) \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 続けても、何の意味もない。
- a. 仕事      b. 感謝されない      c. なんか      d. だれにも
- (13) あの先生は厳しくないから、きちんと \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 。
- a. 宿題を      b. すればいい      c. さえ      d. 提出し
- (14) もし、 \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ，あなたはもう一度同じ人生を歩みたいですか。
- a. 変われる      b. したら      c. 生まれ      d. と
- (15) このプロジェクトは、 \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ だろう。
- a. しては      b. 部長を      c. 始められない      d. ぬきに

# 問題用紙

( 日本語 )

問題5 以下の文を読んで、問題に答えなさい。解答は解答用紙に記入すること。

通常の科学の研究では、ばらばらでしか（あるいは部分的にしか）手に入らない事実を組み合わせ、足りない部分はさまざまに推理して、現実が生じていると思われる現象を説明したり謎を明らかにしたりしようとしています。それに加え、現実が生じている事柄の解釈や説明だけでなく、将来どうなるかについて予測しなければなりません。予言力が求められるわけです。つまり、現象（結果）を前にしてその理由（原因）を探り、その理由の説明とともに、将来にどのようなことが予言できるかを提示し、理由と予言が実際に正しいと認められなければならないのです。その間の思考の流れをコントロールしているのが、A「科学的な考え方」なのです。

実は、この「科学的な考え方」は科学の研究だけでなく、私たちの日常生活におけるさまざまな事柄にも適用できることであり、現に、私たちはそれぞれ科学的に考えています。実際に、私たちは意識しているかどうかは別として、何か事があるたびに、

- ① なぜそうなったのだろうと考え、
- ② 筋道※<sub>1</sub>がある推論（推理・推測によって立てた論理）を客観的にたどり、
- ③ もっとも合理的と思われる考えを最終的な結論とする、

という思考過程を採っているのは事実ですから。人は誰でも、そのような思考法を自然のうちに身につけているのです。

ところが、誰もがそのような「科学的な考え方」をするなら、みんな似たような結論に到達するはずなのに、ぜんぜん違った結論になってしまうことがたびたびあります。なぜでしょうか？それは各個人の思考の中の、①から③の間はどこかで「科学的」ではなくなっていて、本来あるべき筋道から外れているからです。そこで、どんな場合に筋道から外れて「科学的」でなくなるかを考え、「科学的」であるためにはどのような思考が大事であるかを探ることにしましょう。

「科学的」思考とは、誰にでも共通する前提と事実を組み合わせ、そこで何が起ったかを推測し、考え得る範囲を徐々に狭くしていく作業のことですが、最初に言っておきたいことは、その過程に個人の感情を交えてはいけないということです。

ア というのは、各個人の勝手な見解が多くなるため、それぞれの主張がバラバラに提示され、まとまりがなくなってしまうためです。

イ しかし、このような個人の意見や願いや私情※<sub>2</sub>が入ってくると、議論のポイントがあちこちに飛んでしまい、焦点がぼけて、何を問題にしていたかがわからなくなってしまいます。

ウ その結果、何が事実であり、何が個人的で勝手な意見なのかの区別がつかなくなってしまいます。

エ 私たちが物事を考えるときには、①の段階で、つい「こうあって欲しい」とか、「こうあるはず」とか、「こうあるべきだ」とかの、個人的な願望や意見や私情を交えたいくなります。

# 問題用紙

( 日本語 )

特に、②の客観的な事実を積み上げながら筋道をたどる段階では、このような主観的な意見を交えるのは混乱を招くだけになることは明らかでしょう。

あるいは、③の何らかの結論が見えてきても、自分の「気に入らないから」とか、「嫌いだから」とか、「主義に合わないから」というような、個人的感情で結論を受け入れないのも「科学的」とは言えません。その客観的な理由を明確に示さず、ただ自分のわがままを言っているに過ぎないからです。結論に反対して受け入れられない場合には、「事実と反するから」とか、「論理が飛んでいるから」とか、「筋道に混乱があるから」と理由をあげて、具体的に事実や論理や筋道について納得できない点をはっきり示すべきです。というより、示すことができなければならないのです。ここには、一切私情が入る余地はありません。<中略>

B客観的な (1) と個人の主観的な (2) をきちんと (3) ことが「科学的思考」の第一歩なのです。

(注)

- ※1 筋道…物事を行ったり考えたりする時の正しい、または適切な順序。  
※2 私情…個人的な感情や考えのこと。

(池内了著 『なぜ科学を学ぶのか』筑摩書房 本試験問題用に一部改編)

問1 本文中のア～エを適切な順番に並べかえたものは次のうちどれか。a.～e.の中から一つ選びなさい。解答は解答用紙に記入すること。

- a. エ → ア → イ → ウ      b. ア → ウ → イ → エ      c. エ → イ → ア → ウ  
d. イ → エ → ア → ウ      e. ア → イ → エ → ウ

問2 下線部A「科学的な考え方」とあるが、筆者の考える「科学的な考え方」の例として適切なものは次のうちどれか。a.～e.の中から一つ選びなさい。解答は解答用紙に記入すること。

- a. ある実験をしたが、自分の立てた仮説の通りにはならなかったので、その実験のデータを削除した。  
b. 実験の結果が得られたら、何度も見直したり他の人の意見を聞いたりして、いろいろな視点から分析を行った上で、結論を出すことにしている。  
c. 先生の意見や考え方はいつも正しいはずなので、先生から何かアドバイスをいただいた時には、いつも言われた通りにしている。  
d. 自分の発表について他の人から間違いを指摘されたが、一度発表したことを変えるべきではないので、指摘されたことについては考えないことにした。  
e. 第三者の視点を取り入れると、本来の筋道から外れてしまう可能性があるため、物事を考えたり分析したりする場合には、自分一人で考えるようにしている。

# 問題用紙

( 日本語 )

問3 下線部Bの  ,  ,  に入る語を、それぞれ a.~d.から選んで、記号で答えなさい。解答は解答用紙に記入すること。

… a. 主義                      b. 意識                      c. 事実                      d. 感情

… a. 願望<sup>がんぼう</sup>                      b. 段階                      c. 現象                      d. 過程

… a. 受け入れる      b. 推測<sup>たいそく</sup>する                      c. 区別する                      d. 提示<sup>ていじ</sup>する

問4 本文の内容と合っているものに○、間違っているものに×を書きなさい。解答は解答用紙に記入すること。

- a. 筆者は、科学について考える場合に限って「科学的」思考を用いるべきだと考えている。
- b. 科学の研究では、「科学的」思考によって問題の解決や説明を行うため、目の前で実際に起こっていることだけについて考えればよい。
- c. 「科学的」思考によって得られた結論を否定する場合には、その理由を客観的に説明できなければならない。
- d. 思考の過程で、個人的な希望や好みなどが混ざってしまうと、正しい結論に達することができなくなってしまう。
- e. 筆者は、「科学的な考え方」をする際に個人的な感情はじゃまになるので、人の気持ちや感情は大切にしなくてもよいと考えている。

問題6 大学で工学教育を受けた技術者と、自ら身につけた技能により手作業などで物を作ることを職業とする職人（例：花火職人、ガラス職人、刃物職人など）との違いとは何であろうか。この違いについてあなたが考えたことを400字～500字以内で書きなさい。作文は解答用紙に書くこと。